William Imbrie,
Sept. 9 : 1878.

耶穌に來れよ

"Translation of "Come to Jesus" by Dr. Newman Hall by Rev. O. M. Green of the Pres. Mission"

耶穌に來れよ

夫れ世の中に我と同く罪ある人よ能く聞れよ是れハかゝる懇切なる珍希しき神のおん招きありて逐一に貴方に告げたまへり父と子と聖靈ハ即ち一体の眞神もきたれと呼びたまひまた幸福なる天の尊使も共ゝ神のおん招に來れと呼び玉へり旣ゝ神のおんまねきに從ひし矜憫なる數多の罪人共も聲を揃て來きと呼び尙斯小册子もおなじく貴方を愛して耶穌に來れと勸りむかし耶穌基督の君此世に在せし時人間の苦勞と罪惡とハ精しく知りたまひて之を哀憐たまひ或日人〳〵の己れを圍

みて集たるを回視たまひ懇切に命せありけるハ惣て疲たる人〳〵や重を負たる人〳〵よ我に來れ我爾に休息を與べしと命せられしが今も其如く人〳〵に我に來きと呼びたまへり貴方ハ罪によつて重を負たるものにあらずや然ば此招きにしたがつて耶穌に來れば休息を得べし

耶穌よ來れ

耶穌ハ休息を與へんと約束をしたまへども身體の安寧よりも靈魂の寧をこそ肝要として告たまふなり凡そ人の奴僕となりてハ自由の權理なくして悲歎流血勞苦と

とはいふにも難澁なるとなれども惡魔の奴僕となりて罪惡なる本心と苦心とを持てハ尚大なる苦みなり其苦を免れて安心を得んとならば耶穌にきたるより外にハ道もあるまじき也耶穌に來ればすべて心の難澁を遁れ貧者にハ無限富をあたへ病者ハ其重病をも療し憂哀者をば其涙を拭ひたまひ親愛者の死する時にハ變るとなく常に此世にもゐるまして患難を助る兄弟となりたまひ罪の重きを負ふものにハ悉皆その罪を取除きたまへり死ぬる日と審判の日とを恐るゝ者ハ耶穌に來れば其審判の日もかぎりなき命と榮との始めとなるべし然ば耶穌

に來り隨ふべきとならずやかやうの招きに與るとハ何と喜べきとにあらぞや若我の知らぬ人が來れど呼に夫ハ我を助るために呼にはあるまじどおもふべし貧きも此ハ助る心ありても力不及吝惜る富者ハ必ず惠施とを好むまじ情深人の患哀者を呼びて來れといハヾ其招られし者ハ必ず慈悲の助あらんとを知るべし其如く耶穌の來れど招きたまふは助る力も心も充滿て裸者には衣服を與へ飢者には糧を授け貧きものには富を惠み惣て世界の人に無限命を與へたまへり其來れと呼びたまふ一ツのおん詞にても貴方が悦せるほどの力を持たま

へりむかし盲者の乞食道の傍に居て耶蘇の通掛るを聞
て號ていふやう我を憐みたまへと其時或人其者を制止
て默れと言ひ制止れば制止るほど聲を高して憐みを乞
ひ號しかば耶蘇基督ハ盲者を招きたまへり依て或人ハ
今急度惠ふ與るべしと知りて其盲者に安心せよ起て耶
蘇に來きと云り是をいゝにといふは耶蘇の召るゝ者に
い何時を惠を與へたまふとを知て盲者に安心せよとい
ひしなり然ば罪を犯せし人〳〵よ安心せらるべし耶蘇
は今も貴方を召びたまへるとなれば道の傍に居し盲者
の身輕になるやうにと上着を脫却し如く貴方を差支の

罪を捨て諸害に打勝耶蘇の前に來り我を憐みあまへ我ハ盲者なり我既に迷ひたり我を助けたまへ不然我亡なんと願ハるべし貴方若罪が甚だ重しと思ハヾ勿論耶蘇に來りて隨ふべきとなり正に罪ありと知らば其罪の本心の儘にて來らるべし惡心あらんにハ其惡心のまゝにて來るべし惠を受る手宛がなくば其なき儘にてきたるべし貧人も富人も貴人も賤人も皆老若に拘ハらず何なる人にても罪を犯と知りたらばみな耶蘇に來るべきなり

如何なる譯て耶蘇に來らねばならぬか貴方ハも

と罪を犯せしゆへ耶穌に來りて免を得ねばなる
まじき也
多分貴方ハ罪を犯せしものとハ思ふまじまたたとへ左様思ひても世の中の人より惡き人にて無く却て優るものと自慢さるべし貴方は飲酒貪慾奸淫竊盜などするものにてハなく安息日を守り聖書を讀み神を拜みなどハすれども盡く眞の神の誡に從しやまた一ッの誡をも背かずして平日誠實ありて清潔し酒も不飲こゝろ寛恕に仁愛ありて驕傲妬忌詐譌忿怒私慾などの惡きとは少も爲ざりしか神は惣て我等の思想を知たまふゆへ表面の

正行のみにあらず清心をもつて勤ねばならぬ表面には罪を犯すヿを恐るゝやうなれども心中に少しも悪を持ておられぬか又第一の誡は盡心竭力汝の主なる神を愛すべしと記てあるに貴方は何時も斯の誡めを守りしか神より賜はりし恵のおん禮を演し歟神の御意に稱ふやうに謹で聖書を讀みしや常に悦で神に祈り信者と共に神を拝ヿを好みし歟又神ほどの清ものに成度とて心を盡し骨折教を急ぎて擴め他人に神を愛するヿを勧めしや平生諸善事を以て神の御榮を顯し度思はるゝにや貴方はたとへかやうに為るゝともそれは當然のヿにて自

から誇るよは足らぬと然るに其實は如斯ふ成されぬ也それ故よ本心が貴方を咎め貴方數千の罪を犯すとを知らるべし貴方随分善行を成せども己の意ふ任せて其行を以て神を尊み奉るとを欲せず唯己の事而巳に心勞し生存て世の榮譽を好めり惣て斯樣なる思想の中にて神は住みたまはず聖諸に人若自ら罪を犯せしとなしと云へば是れ己を欺なりとまた全正き者は一人も無し皆罪を犯して神の榮を顯すに足らざと記せり我とおなじく罪ある人々よ神は貴方を指して汝に呼吸と生命とを與ゆれども却て神を譽るとをせざと云ひさまへり我等の

言とは誠ならざりしか貴方は實よ罪ある者にして甚だ大なる罪が貴方の頭の上に堆積るを神は天國より照覧したまひ惣て之を記したまふ故ふその帳面をば少も塗抹とあたはず假令千萬年粉骨ても一ッの細微罪をも贖ふとはならざるなり惣て貴方の出來る事といふハ當然の事に至今日の負債を還しても昨日の逋債殘りて有り丈け身代を差上ても患難を受けて死するとも犯せし罪を消に足らず過こし方は再び來らずしかれども罪者の爲に自由自在の全く限りなき免許あり耶穌基督ハ御自身の流血を以て我〳〵の罪を免すとを買ひたまへり何

卒其免許を請ふ爲に耶穌に來るべし
　神の御怒たまひし故耶穌に就て親和とを願はざるべからず
聖善に神は日日に惡人を怒たまひ惣て惡を爲ものを惡みたまふと記り神の貴方を怒たまふことの訣柄はさま〱ありて神が貴方に生命や智慧やすべて可悦ものを與たまひしかども貴方は之を打忘れ又貴方の幸福を起すために善律法を示したまひても貴方は之を打棄て神を敬てぞ神はこの世に無もの、やうに心得て生活せり其様なる心得にて父母に事へなば親の恩をも辨へず其

意にも隨はず親達と義絶し全不孝なるものにてあるべし神の御言葉を能聞れよ天よ聞け地よ耳を傾よ我は子を養ふと雖も子は我に逆へりと神は深切なる親の如く心一杯貴方を愛みたまへりしかるに貴方は自己の罪を以て神の御心を歎せしなり神は貴方を生し貴方を管轄し貴方を審判する御主人なれば實よ諸惡人をば御罰しなされねばならぬと也夫故神の御心に逆ふ道なれば慈悲深おん父も却て恐しく逆鱗する主君と成られたまふべし總別貴方の自分から爲し過に由て神は御怒を起し貴方の罪惡は貴方と神との間を離るゝ様になれる也罪

を悔改ざれば神の御怒日〳〵に烈しく貴方は之が逃るゝともならず何處に居ても神は其處に就在して貴方を怒りたまへりさればこそ息を引にも神を頼ねばならぬとなりさて世上の怒は至輕く神の御怒ハ最も重して神の御怒ハ何時貴方の頭の上に在て貴方の生命はいつにも危して寢も起ても何をしても安に居ても其事を思ひて甚だ恐怖死ぬる時節が來たならば神の御怒を思ひ恐れ神の裁判所に立て神の御怒を仰ぎ見るときは恐しくとわかるべし罪を犯せし人〳〵よ其御怒は貴方の惡を改ざる間は何迄も収らざる也神は貴方と親しく成度も

思召れて神と和睦せよとの音信を告る爲に其御子を斯世に遣さきたまひし也此の御子に心を任て信仰だにせば神は御怒を成したまふと無るべし是故に耶蘇に格て最早神の敵となら𛂞和睦せよとの御言葉に随て必耶蘇を棄るゝな何故といふに子を信ぜさる者は命を得ず神の御怒は永く其上に止るべしと耶蘇のあふせありし故なり

地獄には貴方を待て然ば救助を得んがために耶蘇ふきたらねばならぬと也

地獄といふものは人を畏懼しめに人の心で考へ造りた

る譬話にてはあらず聖書は神の御言にて確に其中に記せし如く惡を成す人と神を忘るゝ國とハ皆地獄へ堕せらるゝと也又聖書に人かならず死す死後審判ありと記せり其審判の時には萬民みな世に在て爲せし事を述盡さねばならず神は萬民の心中に隠れたる事を明に審判たまふとなれば惣て耶蘇に格て其免許を請ざる惡人ハ裁判官の左に立裁判官は甚嚴しく其罪を定る時罰せらるべきものよ惡魔と其使達が爲に設たる所が無滅乃火に入れよと云即ち其場所が苦みは言盡されぬ苦にて日の光を見られず朋友の快き聲も家内のものゝ慰みも世

の樂みも罪の所業もなし富者はその身代を持て行とあたてず放蕩者を惡き慰を携ふると不能本心には咎められ犯せし罪は盡忘られど援助を得んとする機會ハ全なくなりて其機會を求んと欲るにそ最早日も時もなく今一度の安息日があればよいさなくともせめて一時間までも猶預の有ならば願ふべき間もあるべきに兼て祈の餘り遲滯せし故幽暗と罪と苦と死と際限もなく身に迫る而已曾て耶蘇は罪人の死せし後の事を指て命せられしに地獄は火と硫黄との燃てある湖水にて其處ま哀み齒がみするとありとまた蚯蚓死せず火消ず昔富る惡人

は此中に墮て苦む時はラザロを遣して其指の先を水に入れて我舌を浸たまへ斯の火の燃る中は甚苦ひと叫びし又穢れしものも斯處へ來ておなじく留殘て又苦みの煙て無限立上ていつをも絶ずと耶穌の曰しが此苦み程の恐しき苦みてまたとあるまじ夫故地獄に居とは至て恐しき事にて惣て罪の免許を得ぬ人は此處へ來れり貴方を此書を讀て未罪の免許を請ざれば其處へ趣との日ゞに追近り其處へ墜てて永遠心の望を亡ひ最早爲方なくなりぬべし雖然其處へ不墜仕方はあらぬかと尋るに只一ツの仕方あり其は耶穌基督の方へ逃れよ彼の御方を

地獄より救出さんがために此世に降りたまひし也聖書に神は其産たまへる獨子を賜ほどに世の人を愛し給へり總て彼を信ずる者に亡ることなく無究乃命を受ためん爲なりと記せり故に耶穌に格らぬ人て救を得の法方は有まじ耶穌にだに格らば救ひを得とのならぬ様には何者にてそ妨るとて能ざるなり

本心を安樂にする爲に耶穌に來れよ

神の命に惡人には安樂なしとあり罪人はおのれ乃所業を考ざる故に安樂なりと思へどもそき拔安樂とは云れず譬ば人が水の洩る舟に乘て危きとを思はず或にて商人

の資本を耗損したと氣が付ても心遣を設ることを嫌て帳面を調べざるが如く罪人といふ者は丁度其通自分で何やら惡事を思慮れども心遣となるとは嫌て神と靈魂との事は考ざる積なれども時としては惣て自然とれ考をせねばならぬとの有は誠に已を得ざると也隣家の者や或は親族れ者供の死するを見或は己れれ最早死に迫近し時ゟまた其外の事に附きて時〳〵急に思出し神の怒に依て我靈魂は甚だ危けきども死ぬる支度はなしと思ばこの思は中〳〵ふ其心を苦むるゝ相違はあらぬとなり貴方を罪の免許を得ぬ間は安樂をするとは出來ぬ

也段々と世界中の戯樂を極むれば卒に本心の善考を廢るやうに深く罪に陷て幸福を得るとはならざる也耶穌に來てよく信仰をするならば直ぐ諸の罪を許されその罪を哀みて心には忘れ得ざれども之を恐るゝことなし神の命られし御言葉に汝等の罪と過とを記ず全く惡事を消し又其罪ハ後へ投げ海へ沈むべしとあり故に審判の日に至りても罪を指し互問ひたまはず聖書に神は盡く罪を許したまふべしとしるせり今は愛みの御心を以て我等を憐みたまふゆへ最早神を恐るゝことなく神は親しき友達の如く御自分を信向して依賴やうにこそ招

きたまへりあだんの如く神を捨て逃匿るゝことをせずだびての如く神の方へ遁匿ざればならぬとなり是はいろふも難有事にて我等はまた罪を犯せることのなれども免許を得て助られたる罪人なれば本心はいかやうに咎ても耶穌に於ては汝の罪赦されたり安心せよとまた汝の安きを殘し我の安きを汝に授べしとおふせられ聖書に我等は信仰に由て義とせられ神と和睦せりとしるせり憐ぬる罪人よ久く安樂を知らざりしなり世の中の戯樂みは安樂にあらず即ち神の敵にて貴方は靈魂を罪が壓惱めて必定安樂ふはあらざるなりさればこそ耶穌に來

よ彼の御方は我等の心をしづめ安樂をあたへたまはるなる耶蘇に由て罪の免許を搜索し早く聖書の意味を會得し人間には氣もつかざるほどの神の安樂を悟るべきなり

新しき心を受るために耶蘇に來れよ

耶蘇のにこでもといふ人に命せられしは汝はかならず新に生るべしと其故は我等の思が神のかたへ替ざれば活ておるうち神によく勤め死して後も神と供におるとは決て成ざるなり罪に由て我等の心神を遠くするならば終に神を慕はず愛しまず眞の道は必ず人間の氣に入ざ

る處あり前には罪に因て氣には入らざる事も今は之を愛するやうになつたるは死せし人の丁度甦たるが如く心は大に變ざるとなりしやうに心の變ずるとを新に生るゝとはいへり耶穌の曰ひしとふ實に汝に告ん人若新に生れざれば神は國を見ること能はじとされば心の變らざる罪人よ何にして天國に入らんとするとを望むや天國に入ても嬉ふは思まじきなり譬へば雀は空に飛でよろこび牛は野に樂めども魚が空や野にありなば直に死すべし其故は各その性のよろしきに叶ざればなり故に音樂て能耳に聞て辨るそのばかりを喜ばせ又書籍を

讀むことを好ざる者は書籍を喜ばず心に合ざる仲間に
入ては面白からず卑屈人て朝廷に立ことを好まず無學の
人ては博識の人と親しむことを樂まず斯通り丁度神を敬は
ぬ人は眞乃道を樂むことあたはず貴方て安息日を淋き日
なりとて思てずや聖書て面白なき書籍と思てずや眞
の道の話ていやに思てずや祈は苦勞ぬれその思てず
や正き人と交れとて退屈なれとと思はずや然ども天國
はいつも安息日ふして神を敬ひ潔きことなりその中に住
ておれ者も皆正しき者ばかりにして言ふ行も皆神の事
に係てのことなれ天國い神乃在せたまふ處ゆへ祉福の場

所なりしかるに貴方は善事と神とを悦ばざれば其天國を貴方の心には幸福なる處とは思ふまじ貴方は天國に苦みて他人は幸を減し天國は宮の内に居ても神を敬はずして之を穢する者となれり夫故新に生れざれば何時になりても其處に入ることを得ざるなり貴方は自分で心を變ることはならざれども神は聖靈は之を變化てたまはるなり耶穌基督は我等が聖靈乃賜を受んがために死なせたまひしゆへ誰にても之を受んと耶穌に願ふなれば自在に之を得らるべきなり是故に新に生るゝやうに只管神は聖靈は感化を願ふべしだびでは願し如く神よ

我に清心を造りたまへと又新に正直心を造りたまへと
願ハれよ又心を勵ます為に耶蘇が御慈悲深き御言葉を
思ひ出さるべし耶蘇が命せられし御言葉に汝等惡人な
れど最も善きものを以て我が子に與ふるを知れり況や
天に在す父ハ聖靈を以て之を求るそのよ與ふるを知たま
ハざらんや

神の養子と成りて樂みと幸福とを受るために耶
蘇ふ來れよ

時よ依てハ貧人の兒を富人己れが子として養ひ育ると
あり之を義子といふかくれごとく丁度神ハ耶蘇にきた

るそ乃を扱ひたまひて汝等ハ我が子我の娘となるべし全能が主之を曰りと記たまへり又聖書に我等ハ子たるが靈を受るによりて阿波父と呼べりとしるされ祈るとき神を天に在す父よと呼ことを許したまひまた神ハ其義子を愛したまふと此世が父母の子を愛するよりも尚優て之を教へ之を養ひ之を慰め之を保ち之を護り賜ハるとなれば苦楚ありともそきハ己れの為に神乃深切なるおんいましめにて聖書に汝等責を受ても之を忍るならば神ハ汝等を子の如くに扱ふ是神ハ其愛する者を折檻したまふとしるせり惣て驗を經るうちを猶之を慰めた

まひて聖書に父の子を憐む如くにその恐るゝものを矜恤たまふと在りて病煩ごと貧ごと哀ごと其外惣て苦みごとハみな神の管轄したまふとにて人間の益になり聖書に神を愛するもの丶ために諸事を働きて彼等乃益となすと又彼等にハ諸善に於て欠目なくまた彼等を害するために造りたる器ハ役に立ぬとなるせり彼等ハ諸乃苦みと危きとことを經るあれだハ天に在す父ハ其側を離れたまハず聖書に汝恐るゝことなかれ我汝を贖ひ汝ハ名を以て汝を呼ぶ汝我に屬するものなり汝水を渡るとき我汝と供にせん汝河を渡るに水かならず汝を溺らさ

じとまた我永く汝を捨ず汝を忘れずとあり諸事天にいます父に祈るべきなり聖書に惣て汝の求むる所の事ハ我に告よとありてその耳ハ是等の願を聞やうにその手ハ是等を助るやうに伸たまふ神ハ父の如く是等のために家督を譲りたまふとなれども是ハ此世の中の家督と違て腐ることなく穢ることなく變ることなくして神の子となることハれめにぞ大なる幸福にあらずや神ハ我の父にて我を愛しみ我を憐み我を免し我を護りたまひて我諸惡の中におゐて無事息災にゐて惡人惡鬼我を害するとあたわず神ハ我が至近の匿れ場所にてまた何とても彼の

神も眠ることなく倦ること無く忘ること無く換ることな
し聖書に神の其子等に命せらるゝに我永く愛心を以て
汝を愛すと記されたり是は世を渡るあいだ神も常に我
と一所におすみなされ終には神と御一所にかぎりなく
天國に居ることをあたへたまへり世の中の諸事をかやう
の貴き大なる難有事に比較べきそのはあるまじ此書籍
を讀るゝ人を神の子どならんとを仰ぎ望るゝやそし然
ならば耶穌に來るべし神の子と成ことを得らるべきなり
いうにといふに聖書に彼を受け其名を信ざるそのも神
の子となるべき力を賜へりと記るさきあればなり

天國に入らんとを望なば耶穌に來るべし
惡人を罰する處のあるがごとくまた耶穌に來るその丶ために榮る天國あり神を深く罪人を哀みたまひ之を地獄より救たまはんとて其御子を此世に遣され尚是等をして神と共に限なき榮と福とを受させたまはんとの思召なり信者は死して其體は腐るとも其靈魂は耶穌と共に居るゝとにて實に難有事なり聖書に天國の福を指て說示されし事はいかにも喜しき事也是故に聖書に其處へは病と苦みと死とは何時に至りても入るとあたはずまた心配と恐るゝといふとを思はず貧しきと邪見と不

本意のといなしと記るせり墓より甦らんとする體をい
つも衰へるとなく痛も疲も腐るともなく年の寄るとも
弱るともなしれろよとなきばその處よ居ものは皆〃
いつも幼きもの丶如く妖にして死も我〃の愛する人
を取り除るとあたわず何故といふよ死期を全く消滅た
ればなり尚是ちりも賢たるとありてそれは凡て無罪よ
たて共よ心を一杯ふ神を愛し各相変てあいたがひに人
の幸福を喜び神をその人〃の中に住たまひて昔の善
人よて彼の道のためふ殺されし人と使者と預言者と皆
其處に居られたり加之至て尊き天の使に逢ひまた榮輝

體を持たまふ耶穌に見へてその顔を拜し永主と共におるべし天國はいかやう結搆なる處だといふとをしめす爲に聖書に之を譬て天堂は黄金の巷寶玉の門碧玉の石垣などを以て造りたる街に似たる處また水晶の如き清水の河と病を癒す葉を生ずる樹の植立たる園に似たる處また疲たる人の爲に設たる休息處或は父の家或は嬉樂き家内に似たる處なりと記せり又聖書に天國に居るものは永喜び樂みて憂と歎とは迯去かぎりなき樂みを首に蒙りまた神の前には圓滿の喜び有り其右の手に在て限なく喜び樂めりと記せりこの世の福に最も勝れて

善福なりとも漸くよ消滅び財寶ハ散り易く養生も衰へ朋友も離き萬物死を免るゝとあるハず天國の幸福ハ誠にかぎりぬし此の書を讀るゝ人よかくいふ天國の幸福ハ貴方にも貰受らるべし耶蘇も其門を守たまひ罪人どその這入易きために其門を廣開たまへりしかし耶蘇に格らねばその天國ふ入るとを得ざる也何故といふに耶蘇の外よハ天國に入るべき門なし耶蘇ハ貴方の來るやうよと招きたまふとなきば如何なる罪ありて汚穢ものまても耶蘇に來きば必ず天國ハ貴方にも這入とを得らるゝなり此救の御言葉ハ貴方を指て説示したまへり何

卒天國の幸福を得る爲に耶穌にきたらるべし

耶穌基督ハ如何なる人にてあるや

是問ハ至て大事なる問なり如何といふよ耶穌に來をよといふ招きを聞ても其御方を明に知らざをば其招きに從ふとあたハざ耶穌の御言葉に汝等基督に就きて如何に思ふやと問ひたまひしとあり此間に我輩何と答べき是をハ實に大切なる問なり

耶穌ハ神であるなり

耶穌ハ此世に顯をたまハざる前より限りなく眞神の全徳を備へたまふ御事にて天に在す災ハ眞神にあをば耶

穌もすなハち眞神にてあり是ハ最も難解事なきども全眞實のとなり是事ハ聖書ふ明に説示せり耶穌を詞と名付て約翰の傳にハ始に詞あり詞ハ神と共にありて詞ハ乃ち神也萬物依之成きり成物不依之ゑて一ッとゑて成ものなしまた詞ハ人にも成て我等の中に宿ると記るせり耶穌御自分のとを宣ひヿ我ハ亞伯罕あるよりも其先にありと又我ハ世の創造の前に於て父と倶に榮を持りと又我と父とハ一ッなりと命せられたり聖書に耶穌ハ父の榮の顯を耀く者也とまた目に不見神の象なりとまた人の體を借て現れたまふ神なりとまた耶穌ハ昔も今

も何日迄も變ぞとまた神の尊御德ハ彼に具きりと記せり然ば耶穌ハ實に神にして其力と智慧と惠とを全具さまへバ耶穌の力に不及とをく又何日迄も不變ゆへ必御約束を違たまふとなし然ば有罪人〳〵よ彼御方ハ實に貴方のなくて叶ハぬ救主なり譬ば大なる危難の場所にて助る人のなくてハ叶ハぬときハ强そのを求むべし天が下に誰か耶穌の如き强きもののあらんや彼のおかたハ神と同力に互貴方の爲に諸の難爲事や或ハ危難事やまた仇敵だのに勝たまふとにて貴方ハ何事ふも弱ものなきども耶穌の力ハ不足となし貴方ハ力の弱人よを天の

使まも頼ぞして造られし萬物より最限なく強きもの即ち助る力の大なる神に依頼べし天地の主なる神ハ我等を助たまふ思召なれば安心を致べきことにて彼おかさが我等を助たまふと約束されしとなれば誰にても我等の妨を爲とあたハぞ聖書に神ハ我等の爲なれば誰よく我に敵せんやとあり我等耶蘇に來れば直に其力も知慧も義も恩も皆我等の爲に用べし斯樣なる救主あらば必ず滅亡ハあるまじ聖書に耶蘇ハ人を助る力を全く持たまへりと記せる如き是也

耶蘇ハ人にてあり

耶穌ハ人にてあるハ前に耶穌を神なりとれふ如く是もまた實の事にて聖書に神ハ其獨生子を賜はりしほどに此世を愛みたまへりと又耶穌ハ神におなじき者なきど僕の貌を受け人の狀に象り人の姿を以て現きたまへりとまさ預言者の言に彼ハ患悲ある人なりと記してあり御自分にて毎度人の子なりと宣ひし也我等反たる律法を守り我等の蒙るべき刑罰を受ん爲に耶穌は人と成たまへり誰にても神を視るといならぬゆへ耶穌ハ人と成て其性質と行狀とを示したまひ我等が明に神の性質を知るために人間の中に住居たまへり其故に耶穌の宣

ひーとに我を見知ものは父を見しなりと彼御方ハ人と成たまひて我等と同諸の難義を忍びたまひ我等を恕たまふものと知るやうになしたまひし也聖書に耶穌自試られて難を受け能惣ての見試者を助たまへりと又我等の祭司にて我等の弱を惠せ多まはざるとなしたゞし彼諸事に於て見試と我等の如し但し罪なき耳と記せり然ば耶穌ハ人であるといふとを知るべし昔寡婦獨子ありしが其子死て葬を送とき棺の後より其母の泣哀て行を遙に見て之を憐み尸の處に行て其死せし子を甦らせて其母に與へは誰ならんか此慈能力有る人ハ即ち耶穌な

り或時童子の數集て居處へ何人か立て其童子を抱て惠たるかそれは耶穌なり又ラザロの墓側に泣哀人は誰なりしか是も耶穌なり凡て病煩貧憂あるものは誰人に早從ひしや此者を癒慰て一箇も捨ざるものは誰にてありしや即ち耶穌なり今も耶穌ハ慈愛漫順厚情御方にて在すとなれば恐るゝとなかれ彼御方ハ人にて貴方の兄弟なり我に來れと招きたまふ御方ハ耶穌なれば有罪人ハよく聞るべし彼御方ハ不能爲となきの神にて貴方を助る力を持たまへり其上彼御方ハ憂患悲哀のある人にて心を充滿にして愛想の深きゆへ惣て貴方の弱して恐る

ゝことを能知て憐みたまへり又貴方に恐るゝなど命せらきて兄弟の通言盡さきぬほどの愛心を顯して我に來きよ〳〵と招きたまふゆへ何卒左樣に愛む友達を棄ずして其聲を聞るべし彼の御方の惠愛ハ貴方の心に感ずべきこと也其御約束に依賴て直に耶穌に來り彼御方を救主とたのみ主となして從へば貴方の兄弟より尚能愛む友達と成たまはるべし

耶穌は罪人の救主なり

聖書に耶穌基督は罪人を救はんが爲に此世に降りたまふといふことを格別に信ずべく知るべきこと也とありまた

神は耶蘇を擧て君となし救主となしゑまへりとあるは此の惡世に耶穌の產を來たまひしことの故を示さきたるとにて耶蘇は如何になして救たまふといふに我等の代に立て我等の受べき刑罰を受ゑまへり我等は神の律法には背たきども彼御方は潔して害もなく垢もなく罪人と異なりたまふ故全其律法を守ゑまへり我等は罪に依て死すべきもの也聖書に罪を犯す人は不死と能はずとありぶかるに彼耶蘇我〳〵の爲に死しさまへり聖書に巨多の人を請戾す爲に御自分の命を棄たまふとあり我〳〵は神の詛たまふ下に居者にて聖書に律書の所載

を盡行ざるものは詛るゝものゝ也とあり然に又聖書に彼耶蘇は我等の爲に詛るゝものとなりたまふとあり又我〱の罪に依て傷害を受け我〱の惡事に依て傷はれ且笞れに因て我〱は愈されしと又彼は十字架にかゝりて我等の罪を己の身に負荷と記り是故に耶蘇は人となりたまひて他人に窺視られ棄絶られ悲哀者また愁苦者にて我等の憂を覆翼たまひ試驗られて客西馬尼といふ園に歎て大に憂ひ血の滴る如く汗を流し鞭笞れて面に唾され棘の冕を冠り十字架に釘られて衆人を請戻ために御自分の命を棄たまへるなり我等は奴隷なるに我等の

苦に代らん爲に世に降りたまひ御自分の血を以て他人を請戻す價となしたまへり聖書に我等は耶穌基督の貴き血を以て贖るとあり我等は囚人の如きものにて裁判人に依て死罪に定めらるゝ處を耶穌父の御座を去て降りたまひ我等の側に立て宣に其囚人は免されて限なく生るために我其代に死すべしと云今彼の御方は甦て天に歸り元の榮を受け我等を助る爲に生てゐられ我等を守護して御自分の聖書と聖靈を以て説話をなしたまひ我等の祈禱を聞き我等の事を世話したまひ又我等の弱を助け何日も慇懃に我〳〵を取持たまへり然れば彼の

おかたの死も命も我等を救ひ我等の負債を拂ひ我等の不足を補ひたまひ彼に依頼ものどもに死の針を免させ審判の日に至て罪に擬られぬやうに救ひたまへり我等は罪人にして神なる裁判人の廳前に立べき者なれども我に代て死にたまふ耶穌に依頼といふ言譯があれば直に其裁判人は我等を義となして罪を許し救ひたまへり耶穌の貴方に命せらるゝに可憐罪人よ地獄に墜べきもの也されども我汝の爲に我の血を以て買求め許可の證文を持りと又我汝に代て死し能汝を救はんに汝我に來きよと也

耶穌は獨一の救主なり

耶穌の宣ふに我は道路なり我によらざれば人として父に來るものなしと我等耶穌に來ざれば神の許可を得ることあたはず神より罪人に賜はる御惠は皆耶穌の御手に預りたまふことなれば誰にもせよ彼に依らざれば其惠を受ることあたはず或人猥に蔑視じて耶穌を棄て神の惠を望とも耶穌を棄るならば惠も亦棄るなり神は其樣なる人には烈火の如く怒る裁判人となり玉へり我等己れ善を以て自分を救ことあたはず我等の行の內の至てよろしき行も罪にて其行は全たゞしくしても前に犯せし罪を贖ふことを得ざる

也聖善に律法の行に依て義とせらるゝものなしとあり我等己の功德を以て天國に入ことを得られたならば耶穌は何の爲よ死し賜はんや我等天國に入る力を持ぬらば自己を助ることもぬるべし己の行と善性質と慈愛とに頼べからず如何なれば耶穌の義と死との外は何にも助ゝる方法は無とにて或人洗禮を受け晩餐を守り聖善を讀み安息日を潔し教會に入りきつと助ると思へりたろきども大勢の人〳〵がかやうの行をぬせしかども耶穌を信ぜぬ故に皆地獄へ墜たるぬり何の禮何の式にてもまた何を信じても何の教會にても人を助るとはならぞ只

耶穌のみ人を助たまふとをなせり或は世の中に神主に頼むものもあれど是は大なる間違なり神主も弱ものにて自分のためも矢張救主が入用なり自分の靈魂を助ることのならぬ者が況て貴方の靈魂を助ることを得んや耶穌の外に罪を許可すものはあらざるなり惟彼の血のみを以て全く罪あるもの丶心を洗ひ清むることをなしたまふなり或人は天の使や聖人や末利亞といふ女に祈りしとか是は人の祈りを聞とも有か知らんがたとし聞ましても人の靈魂を助ることは不能なり聖書に神と人との間にたゞ一人の媒酌人あり其は耶穌基督なり耶穌の外に救主

あらず如何となれば世界の人乃中に我等の依頼て救はるべき別名をたまはざればなりとあり夫故に猥に他の者に救を頼まずして唯耶蘇に依頼べきとなり彼の御方ハ憐の座に在て惣て可憐罪人を直に彼に近寄やうに招き玉へり彼の御方のみ是等に免を與へたまハる也耶蘇の外に救主ハなきに何とて聖人や天の使に祈るゝ貴方ハ耶蘇に親しみ近よるために他人の引合ハいるまじ乞食も大臣も黒人も白人も無學も學者も獘衣を着たる者も皆同耶蘇に挨拶なして招るゝなり妄に他の者に救を求るならば罪を犯せるなり耶蘇の宣ふにそべて世間の

極よ我を見て救はるべしとなり然ば人をも不見己をも不見唯耶穌を見るべしかの御方而已我等を救ふことを得たまふ也

　耶穌は仁愛のある救主なり

耶穌の天より降て苦を受けて死せ玉ふといふことに勝たる證據はあらざやといふに耶穌の御詞に人を友達の為に命を棄るは仁愛是より大なるとなしと耶穌は清き天國を去て此惡世に降り天の使の讃美の歌に離て惡魔の試を受け尊き榮の坐位を棄て苦の十字架に釘き死したまひしは何譯ぞといふに御仁愛而已よて友を愛せざ

却て敵對するものを愛たまふて我等乃猶罪人たるとき耶穌我等のために死したまひ此世にありて多の御仁愛を顯はし玉ひ處々を徘徊善を行ひ何の病にても癒し何時にても貧哀ものを棄たまはぞ罪人の友達と名付らをたまへり一度橄欖山に登てゑるされむの町は罪と滅亡との早來るとを考へて歎きたまへり十字架につき死にたまふとき其側に在て悔改し盜賊に信切よ言を宣ひ己を侮り殺ものゝために只管よ祈りたまふて宣ふには父よ是等を許し玉へ如何となれば自分どもの爲とを知らぞと彼のおかたは自分の助けのために天の使の軍勢

を招かんとせばたやすく呼集ることを得たまふべきなれども死にたまはずんば我等は救はるゝこと不能なりされば我等を愛たまふて十分に苦味ある杯鐘の滓粉まで飲盡せりまた甦たまひて尚昔の如く罪人を愛たまふゆへに我等を取成て憐み助るために聖霊を贈り恵を與へ我等を救はん爲に待て居たまへり貴方を愛み貴方のために死し貴方を憐みて我に來れよと呼たまへり貴方はかの御方を棄てそかの御方の愛心は今まであなたを守り其愛心はあなたの罪を忍へ今も貴方に其血を以て償ひたまふ所の免を受んとのために願たまひ譬ば朋友は身代

をかけ盡して貴方を牢獄より出すか或ハ危難を厭ハざ
貴方の生命を救ハゞ貴方ハ是人をたやすく捨難かる
べきなり耶穌ハ是朋友よりも尚優たる事を行ひたまふ
て貴方の爲に死して貴方を永苦の中よりいだし無限の
幸福を天國に於て受させたまふとにて貴方を招きて手
に釘のあとあるを見せたまひて宣やう罪人よ如斯我
汝を愛するとを知れよ我ハ今も汝を愛し汝を罪と地獄
とより救ひ出すために我に來れよと招きたまへり必ず
箇樣なる慈悲深救主を捨て信切の愛心を蹈み付になす
べからず如斯のまことなき善朋友にハ逢がたし彼の御

方を頼み彼御方を愛するならば何時迄も心を十分に志て憐みたまひ恕のある朋友となりたまふべし此世の危きと苦との中にも彼おかたハ貴方を慰めたり導きたり守りたり又死する時も貴方を助て天國に於て無限幸福を受させたまへり何卒此の仁愛の深き救主に來るべし

耶穌ハ我等の裁判人となりたまふべし

聖書に我等ハ皆必ず基督の廳前に立べしとありて彼の御方ハ先に哀れありたまふ御方なれども榮輝神の形を以て再び來りたまひ萬國の人々ハ其前に集めらるべし聖書に視よ彼は雲に乘て再びきたり各人目を以て之

を見るべしとありまた昔彼の御方の脇腹を鎗にて刺さる者も必彼の御方を見るべしとありいかにも是ハ信者を喜ばすべきとなり耶蘇ハ信者が自分達の代りに選みたるやうにぞ思ひて深く信仰せしとなれば今其位に在を見るときハ信者皆〳〵大に喜悦べしいかにとなれば彼等を救たまふとを約束したまひしとなれば善友達が己を乃裁判人なるに因て己をハ無難なりと安堵せし故也たゞし耶蘇を嫌ひたるものはいかにも恐しきとにて自分達の罪悪と怠惰とに由て耶蘇を辱しむる人ハ耶蘇の彼等を咎めたまふ顔を見ていかで恐れざらんや今我

に來れと呼びたまふ聲を却つて汝詛ひしものよ我を離れよと命せらるゝを聞かばどのやうに恐しからん歟譬ば囚人が死罪に定められんとする罪ありて既に裁判を受んとするとき前に謙遜したる有樣にて囚人を哀む心充滿して見る大慈大悲の人が牢屋へ行て囚人を見舞ひ骨を折て裁判の時囚人が助るやうに働きしがかく世話をせし事を囚人に話て囚人の我に依賴ば安全を得るとの證據を顯はす囚人が救を彼の者に請ば彼の者は其免許を必ず得ると請合囚人に告るやう裁判のとき私も出て貴方の爲に裁判人に咄て貴方の理窟を執成度今迄私

ハ貴方の如罪を犯す者を多く救ひしが貴方をも屹度救ふとなるべし何も禮金ハ入らぬ私ハ殊に貴方を愛せり願ハ貴方を助度と話せりしかし其囚人が書籍を讀て居たり話をして居たり寐て居たりして斯の友達に構ハざれども斯信切なる人ハ度々牢屋に見舞すれば囚人ハ是を厭て迷惑なる様子を見せて其恩人を防げりさて審判の日に至ると囚人ハ裁判所の廳前へ引出され官服を着たる裁判人を仰ぎ見れバこハ思ひがけなきことにて先に牢屋に見舞しとき我辱しめたる友達なり今ハ其姿重々しく其聲嚴く前に嫌ひし友達が今ハ裁判人となれり

有罪者よ丁度此通り終の日に裁判人のごとく坐位に在所の御方も今貴方に來りて救主となりたくこそ思ひたまへりあなたの言解を執成とを好て裁判のときの全き免許を約束せり彼の御方を厭ふとなろれあなたも程なく廳前に立ねばならぬとなれば其取成人を賴むべしあなたハ其裁判人の前に立て大に恐怖べし彼の御方の招きに隨ふべしさなければあなたハ罪を咎る聲を聞ねばならず今彼の御方に心から挨拶せられよ彼の御方も天國に於て挨拶をなしたまふべきなり

耶穌に來るとハ何の心なり耶

耶穌に來るといふ言葉ハ多くあるどいかにして來るべきや耶穌ハ天國に居たまふとなるば如何して我等ハ其處に至りて咄をなすことを得んや耶穌ハ何處にも居たまふといふことを我聞けり然るよ彼の御方を見るといならぬことなるば如何にして彼の御方よ至らん今も昔の如く此世よ居たまふとなるばいろやうの心配苦勞をも厭ハぞ身代を賣ちろなしても旅の支度を成し百里にてを千里にても歩みて何程の難儀をも不畏直に出立して彼の昔愈を請ひて來りし病人の如く多勢の中を推分て來て其前に伏て衣を引き或ハ足を抱ひて主耶穌よ我を救

ひたまへ我ハ盲人跛足癩病の者の愈治を請求るとハ異なり我等ハ罪ある心の愈るとを願ふなり我等の心罪と惡とにて病となり神の怒りを蒙り無限苦みを受べきものなりとてどふぞ主ち我の滅亡せぬやうに救ひたまへと願ふべしたゞし耶穌ハ今我等と一所に居さまハぬゆへ如何にして彼の御方の處へ參りて宜らん歟不知也此書物を讀人よあなたハ如斯に心に於て爲なればきつと耶穌に至るとを得べきなり若しあなたが彼の御方の處に行き昔の病人や跛者の如く伏て衣を引き彼の御方と咄をするなきば何の益があるうと思やそきハ自分の不

足の事を彼の御方に知らすためなりしかし彼の御方ハ前方より貴方の様子を能知りたまふとなれば骨を不折に救ふてもらひ度といふとが彼の御方に知れるとにて彼の御方を思ひ心を以て感じ親く見る如く彼の御方に祈り多勢を推分る如く只管になすべき事なり昔盲者を耶蘇を見るとを得ざるとぞ大なる聲を揚て呼び耶蘇よだびでの子よ我を憐み玉へと叫し如貴方を彼の御方を呼びて願べし彼の御方の世に在せし時に生て居しそのに較れば今の人ハなほ幸福なり何故といふに當時ハ遠き道を行き或ハ大勢なりしかば彼の御方に近附とハ難

かりしが只今ハ外に罪人の彼の御方に來るものゝあらぬ様に貴方ハ勝手ふ彼れ御方と共に交り貴方の近所へ至りたまひて貴方ハ彼の御方を見ざれども彼の御方ハ貴方を御覧じ貴方の心を知り貴方の言葉を聴たまへり耶穌に來るとハ誠に我心うら彼御方を慕ひ依頼み我罪と苦とを知て彼の御方の免と慰と救力とを信仰し彼の御方の我等を助さまいるやうよと願ひ友達の如隔ぬく全く依頼むべきなり細説ば耶穌に來るとハ耶穌の顔を不見耶穌の聲を不聞どそ眞に見聞せし時と同じ心得よて願を上げ我を惠せたまへと祈るべき也悔改罪人よ貴

方ハ己の罪をかの御方の免たまふことを願ふも貴方の耶穌よ救ひ玉へといふ祈も倶に即ち耶穌に來るといふとなり

祈禱を以て耶穌に來るべき事なり

あなたは耶穌を見ることを得ざれどもかれおかたと語るとハ得なりそれハ神が我等の祈る事をゆるしたまひ命じたまへる也如何にそ神と語ることを得る免ハ幸なるとにて聖書に患難の時ハ我に求めよまた目を醒して祈れよまた絶へず祈れよとあり祈禱ハ詞を飾に及ばず心の欲する所ハ口より出さずとそ祈禱となるとにて貴方ハ

祈る事を教會に入る迄まつに及ばず何處までも祈ると
ハなるべきなり耶穌ハ常に憐むべき罪人の祈を待て居
たまふ故に一ツとして祈を聞たまハぬとなし何時でも
耳を明て居たまへり譬ば天子や大臣たちと語るとハ中
〳〵六ケ敷たま〳〵其人を見るとを得るも其見るとき
容易近寄とを得る人ハ甚だ僅少なりしかるに貧もの
でも賤ものでも何時なりと祈禱を以て耶穌に來るとを
得る也靈魂の缺べからざる物を何事にても欲する事ハ
祈るべし罪の免許と新心と信仰と清潔と慰とを祈るべ
し徒然祈る譯のものにあらざるなりとの心得にて祈り

なばきつと恩を賜ハる也不能事なき神なれどもまたなすことはあたわざる事あり其ハ罪を犯すとや罪人は祈りを防ぐ事ハなしたまふとを得ざる也何故といふに約束を為したまひし事ハ屹と其通にして賜ハきばなり耶蘇は宣にハ求むれば必之を與へらるべし神ハ御自分は言葉を捨たまふとを得ざるゆへ安心して祈るべきなり貴方ハ何程弱く賤きそはなりと思とも祈る事ぞならぬ程悪しき者にてハあらず主よ我を不滅亡やうに救さまへといふ僅は詞を口よりいだしていはるべし祈によく熟るやうに人の居らぬ處にて祈べし聖書に汝祈るとき

部屋に入り閉籠きよとあり祈る隙乃有やうよ朝起て日〳〵の仕事をいまだ始めざるうちに心中の事を神の前よ顯はし己の賤き有形やまた弱き有形哀き有形を神に語り罪を白狀して只管免許を願ふべきことなり聖書を讀み其中に取持てたまはる淸事を願ふべし主よ我は心暗きものなれば教へたまへ心の頑なるをのゆへ和らげたまへ御聖靈を以て我を改めさせ玉へ我耶穌に來りて信じ愛從やうに助たまへ罪より救ひ天國に入るやうよゐさためたまへと祈るべき事なり晝の中なすべき仕事に取りゝるとき心を以て神に差上聖書の律法に從てた

へず祈るべし神より直に答を蒙らざれば尚祈て後に御恩を受るなり真實に祈るそのは慥に亡滅せざる也耶穌に叫て主よ罪ある我を憐みたまへと祈る間に亡滅は最早免るゝととなりぬ

信仰を以て耶穌に至るべし

新約全書に信仰の事を多く記せり其内に二箇條を引ていへば我等信仰を以て義とせられ信仰を以て救はるゝ事なり主耶穌基督を信ぜるならば急度助らるゝとあり信仰とは依頼とにて譬へば我等の飢るとき深切なる友達のなにか我に與て是は餅なりといへば暗夜にて我は

見る事がならぬを直に其餅を食はん是慥に信仰にて我其辭に依頼なり我が病煩に我ためにして醫者が教へた藥を飲むは是も信仰にて我其醫者の功手に依頼なりきこし耶穌は此世に降りたまひ罪人に代りて死たまひその宣ふことばに我を信ぜよ我汝のために罪を許す券を買ひしゆへ汝は離きて行べし是は我血を流すほど費したる直段なれども金なくして自由自在に貰はるべし我の言葉に隨ひ我の助に依頼まば我屹度汝が死し地獄に滅亡とを救ふとを約束すべし我は餅を持て汝等との餅を食へば無限生命を得るなり我は藥を持ち汝等との藥

を飲ば靈魂の病ハ愈永世死せざる也我に來て我を信ぜよさすれば救ハるべしとこそハ宣しが其おことばに依頼みさへするならば信仰といふ事になり又信仰とハ耶穌よ來ることと乃み信仰にて彼のおかたハ貴方乃為よ死し玉ひしゆへその事を信じて其死たまひし事の益を請ひ願ふべし彼のおかたハ貴方の為に牢屋の門を開きたまふゆへそれを信じて遁を出べし彼のおかたハ貴方の為に重荷を負んと思召となれば其を信じて總て貴方の罪を彼のおかたに負せおけば彼のおかたハすべて貴方の負債を拂ひさまふとなれば喜び救るゝ事を貴方に授

けたまへるゆへそれを願へば慥に貴方の有物となるゆへ難有こゝろにて手を延て貰ひ受くべし聖善に譬てある淫逸の子の如く貴方も父の家より遠く惑へども耶穌ハ貴方の家に歸るとの成る免しを求め玉ひ天に在す父ハ耶穌の名に由て貴方を持成度おぼし召ゆへそれを信じ起て父に至るとを定めよ譬ば貴方の亭主や妻子が貴方の言葉を信ぜねば貴方ハ疑へるゝにより大に憂べし其通耶穌ハ貴方を救ひ度思召また救ふ事ハ自在なるゆへ我に來れと宣へりとのお言葉を信ぜずして耶穌を哀ましめざるやうに心掛よ己の罪が深きゆへ耶穌の前に

來るとハ叶ハぬとおもへども彼のおかたハ御自分で宣ふに凡て彼御方に來る人ハ盡く救ハんとなりなんと自欺きてろく宣ハん哉彼のおかたの約束なされし通に屹度成したまふと信じ耶穌よ參りて主よ我ハ信ぜり我の益〻信ずるやうに助けたまへ貴方ハ盡救ふとをゐしたまふゆへ我を救ひ玉へと祈るべし

貴方ハ罪人ふても其儘耶穌に來るべし

多分貴方の言はるゝにハ我ハ斯樣にあしき罪人なきばいかましてⅰ潔白とところの耶穌に至るとが叶ハん哉彼のおろたい我等ほどの罪あるもの丶御自分ほ方に近寄と

をいかで免したまハん須臾支度をなしまでハ待かたが宜らずやと我とおなじく罪ある貴方よ其形がすなわち至て好支度にて貴方の思ふ所の差支とするとが却て勵すやうにきつとなる如何といふに耶穌ハ罪人を救ふ爲めに殊更に此世に降りたまひし故貴方の様なるものを救ひたまハるハ勿論なり耶穌の宣に我來しハ正人を招にあらず却て罪ある人の悔改るとを招んがためなりとあり扠誠に全たゝしき人ハなく自分にて正しいと思ふ人ハ多くあれども左様の人ハ耶穌に受られず我等の耶穌よ來るにハ眞實の様子を以て來らざればならぬと也

我等を盡く大なる罪人にて神の法に背き心も行も惡事をなして御聖靈を防ぎ耶蘇の愛心を見さげしなり凡て我等の行ハ不足なることなれば自分にて清するとあたハず我等ハ正しきものにことよせて耶蘇に來るならば其きハ耶蘇を欺ける也我等ハ金持だの身上のよきものだの不足のなきものだのと思ハず却て貧きもの苦みあるもの盲目なるもの裸なるものと思て來るべしちやうの心得を以て耶蘇にきたり我等の足らぬとを白狀せねばならぬ事也耶蘇ハ譬を以て二人のものゝ樣子を示たまふに一人ハ自分で正しきもの人より優たるものと思て神

に御禮を申述一人ハ謙退ぬるものゝ悔改るものにて天國の方へ目を揚て見ず胸を扣きて祈るにハ神よ我を憐み玉へ我ハ罪人なりと云ふかやうの人ハ殊まゆるさを救ハれて家に歸りしと也我等も耶穌に受られたく思ふならば斯人の如く心持を以て耶穌ゟ來り神よ我を憐みたまへ我ハ罪人なりと祈るべし我等ハ今よりもものつと尚よく成であらふと思て待ハあしゝ如何となきば我等の靈魂ハ罪で盡染されバいかほど洗てもきたなき一ッの汚斑をも清むるとあたはど耶穌の御血ばかりが我等を清めたまへり我等をいつとてもも自分を善する事はなら

ぬゆへ耶蘇が我等を善くして賜るとぬきば彼のおかたへ來らぬ前は少も益のあるとぬしさきば第一の勤は耶蘇に來る事也罪ある人よ只今直に耶蘇に來るべし何卒心得違してもつともつと段〳〵善く成んと一刻も待とぬく今よりもつと善支度なきは必定ぬり復今より善迎へらるゝもあらざる也耶蘇は貴方よりもよく貴方の惡しき罪あるやうすは御存知ぬきども貴方に待とは宣はず却て早く來れよと宣へり然ばすべて貴方の罪と弱きと心の頑固とを以て其儘耶蘇にきたるべし

大抵貴方ハ功の無きものゆへ耶蘇にハきたらき

ぬと思はるべし
貴方は何れの罪人でも自分の功によつて救ひを受るそ
のであると思ふは福音の趣意を解違なり救といふもの
は報にてはぬく賜にて誰にても功のぬきもののよてぼう
らべてろよいねといふ人にても救を受べき程の功はぬ
しもろるに耶穌は至て我〳〵を愛したまひ我〳〵功な
くとも來るやうに招きたまへり彼のおかゐは我等の罪
を差支へとはぬしたまはずばなにゆへに我等は其罪を
差支とするろ耶穌は貴方の着たる穢きぼろの衣が貴方
に蒙てあるとやむか〳〵する病の貴方にあるとを知り

たまへども是等の事に由て我は來をと宣ひし也それゆへ貴方は功のなきものと思ひて來らざれば却て道理に叶ぬと也たとへばあまり餓たから飯を食ハぬあまり貧しくなつたから助を受けぬあまり罪が多くなつたから救を求めぬと思ふやうなるものなり貴方の功がなきにこそ耶穌に挨拶を請ふなり貴方ハ來るべきの様をそつてハ來るとが出來ぬと思ふべしそれなら貴方のできる丈のとにて耶穌に來るべし耶穌ハ貴方に走りて來ま眞直にたゝしく來をといハ宣ハぞ只來をとばかり宣ひし也何の様にてそ來りさへすれば耶穌に貰ハるべし貴方ハ

十分に悔改めぬと思ども何時迄も十分に悔改るとハな
るまじいかにと云に悔改るといふものハ心の別徳の如
く恒に增しまた人の悔改るとハ其罪と均くハならず我
等が十分に悔改ると思てもそれまで救れる〻といふ譯に
てハなく悔改れば耶穌の死したまひし事によつて救る
〻と也貴方ハ我に十分に愛する心があらぬと云ても天
國に這入まで十分に愛するとハ出來ぬと思べし我等ハ
神を愛するから救る〻といふ譯にてハなく神の我等を
愛したまふに因て救ハる〻也貴方ハ十分に信仰ハ出來
ぬと思べしならし總ての信者ハ神に己の信仰を厚くな

て賜はれと祈るにて貴方は眞實耶蘇の貴方を救たまふ力に依賴めば其が信仰なりまた至て弱ものなれどもかほどの信仰を持ものは滅亡せざる也大抵貴方は心が頑固ておれば苦く叫びて神の氣に叶ふ祈にてはなしと思なれども昔しもんめげずといふ人の様を考へて喜ぶべし何故といふに其人の心は神の氣に叶はざまた其人は膽の苦きと惡とに羈れてあれどもぺてろといふ人は彼にいふに神に祈るならば恐らくは貴方の心の思ひが免さるべしと斯言葉のこゝろは眞實神に祈るならば貴方は免さるゝといふ意也貴方はかやうの人よりも尙惡し

き様にハなるまじけれども彼を耶穌に來るやうにべてろふ勸めらきし也耶穌に直ちて貰ふために破たる心を以てきさを若しまだ心が破ておらどハ耶穌に破りて貰やうふきたるべし

大抵貴方ハ自ら信仰のなきものと思ふべしおほかた貴方ハかく言ふべし我の罪の免さきるとハ明に心得らをずまた我ハ救ハきたるものであるか委しく知をず多の人ハ自分に救を受たるときハ知きまた心の中に善様子の證據があるものであるといへりろくいふ人ハ安樂ふあらんが我ハ安樂よあらず疑と恐とが一杯

にして信ぜらきぬゆへ耶穌ハ必ず我を貰ハせまじと思ふなりと友達よ貴方ハ信仰と委しく知きるとの差別が分らねば其二ッの違ふとを変へて一ッに思へり貴方ハ信仰に就ていふとと思へとを委しく知れるとに就て言へる也罪の免許と天國を受るとが委しく知きるならば余程面白き事にて左様に心得ぬとも信仰するとが出來なり信仰といふ事ハあわきなる罪人にて耶穌に來り救を受るためよ彼のうたに依頼むべきと也委しく知れるといふ事ハ慥に救ハきたるもの也と明に知きると也さきばこの二ッの事ハ余程違あるとにて信仰とい

ふ事ハ救ハるゝために無てハ叶ぬと也委しく知れるといふとハ無て叶ぬといふものにあらず衆の人が自分は救ハれるを精しく知と思ふハ間違にて多くは人ハ誠ふ信仰ハ致どもも自分は救ハるゝとをば精しく知らざる也たとへば破船して大なる波のあたる船のこれに取付ときに救船がきたり其船頭が貴方を其船に乗入やうに招きこの船ハ善造たる船ゆへ沈むとなく其船頭も至て功者にて斯船を岸に着んに貴方ハ破船のとき取付たる船の乍に破摧んとを知り救船の無事に貴方を岸に着んとを信じて其救船に乗入るべし然れども大波がその

船を動し沈めんとするとき貴方ハ恐怖て岸に着まてハ安心せざるべし貴方の救船に入るハ信仰にて船に乗て居るうち恐怖とハ精しく知るとのならぬゆへなり貴方ハ大に危と思へども少しも恐れざる船頭と同じく無事であり貴方の恐きて心を困苦さすれども貴方の安全を失ハしめぬ丁度この破船の通り我等も危きとに逢ひし也我等の罪に因て天國は道理の波と風とが我等にあたり律法は雷の如く我等に對して詛ひ響き地獄は下の方に欠して居たり耶穌は救船の如に我等の方へ來たまひ我等は總て自から沈むほどの弱き頼みを捨て彼のおう

たに依頼やうに招きさまへり貴方は自分の罪と弱き事とを考きば疑と恐とは一杯になり安全のなき事と度〻思へども耶穌に依頼みさへすればそを信仰なりされば恐ておる信者よ心を勵すべき事也貴方は耶穌がなくては自分で滅亡ものと思ふか又は己の滅亡ぬやうに救ひたまへと只管に祈禱かさあらば何の恐と疑とがありても信仰を必持なり是れは靈魂を助らるゝほどの信仰にてろやうの信仰を指てぽうろといふ人のいふに主耶穌基督を信ずれば助けらるゝとなりかくいふ信仰を以て耶穌にきたるものは慥に滅亡ざると也

若きものも耶穌にきたるべし

此書籍を讀む若きものたちその若き命を神にさゝげよ貴方のやうな若き人のために別段のお約束ありて神をはやく求めるものはきつと神に逢べしと多分貴方は道に順ふには餘り若きゆへ暫く世間の樂みをえたくまた今よりは餘ほど間もあれば道に順ふにはまだ若と思ふべからずいかんとなれば貴方ハ罪を犯さぬほどの餘り若ものにあらず死するに餘り若といふものにもあらず地獄に投入らるゝに餘り若といふものにもあらず貴方ハ中年まで必ず生て居るとも想ハまず況て老年まで生

る當ハあるまじ貴方の年と同庚位のものが多勢死せり
墓所へ行て見ればいくらも若き人の墓あり貴方も只今
直にも死するかも知れずされば早耶穌に來れよ貴方ハ
道に順ふとなれば哀みであると思ふハ心得違にて却て
眞の幸福を得るの道なり多くの若き人が經驗して罪と徒
の樂とよりハ道の幸福ハ大にまさるといへり耶穌にき
たれば之を眞實なりと知るべし耶穌ハ自分の門徒を世
間の臣下たるものよりも尚福のなきものとハ免したま
ハず且最早一日の間なるにいかにして耶穌を禦ぐか彼
れおうたハ我等よ直に我を信じ從へよと命じたまひし

めば罪を悔改ることを延す日毎に新たに謀反を起し裁判の日迄に御怒を積年寄てから罪を悔改んと曰れるが悔改るやうなハ神の聖靈の助の入用となるなりそれゆへ貴方ハ若きうち惡魔に仕へ死ぬる前に至て神の方へまいるといへば神ハ聖靈をあたへ賜ると思ふか若其通に行へば聖靈を消すことになり甚だ油斷して居るものなきば悔改ることを欲せず年寄てから信ずるものハ少なきものなきば貴方ハ年の若きうちに耶穌にきさらざきば恐らくハ何時にても信ずることなし癖といふものハ鐵の鎖で貴方を縛置やうなるものなれば日々に益々其鎖

を破るとのあらぬやうになり油断して居るうち悪魔が働きてその鎖の結目を堅くせり貴方は彼の囚人にして彼は貴方を總置鎖を益々嚴重になすべしいつとても罪を一ッ犯せば彼また一ッの結目を益し始終善き思ひを消し其度毎に延して居れは段々新しき結目を殖さを只今遁れねば自分はます／＼弱なり鎖は愈々嚴なつてどふあつても遁るゝとはならざる也然れば年の若き中に貴方を造たまふ神を思へよ耶穌に來るとを稍望むあらば直に來りたまふべし悪魔の穴に向ふとき耶穌は貴方の導者とあり又心配をするときは心を慰め命の

危きときハ守護たまふゆへ一日にてもろやうの友達を求めおくてハ居られぬ事なり只今ろら天に在す父ちあをたハ我等の若ときの導者なりと願ふべき也

中年の人も老たる人も耶穌にきさるべし

貴方の命の朝だけハ最早すみたり貴方ハ山の頂まで登り或ハ頂を越て麓まで下りかゝりて居り貴方ハ急ぎて墓の方へ近付にまだ活計のとに骨折ながら一番大切なる事を忘るゝとなかき何の事たりともたとへ命たりとも是れハ無ても宜らんが耶穌ハ無てハ叶ハぬ也靈魂を救ハるゝとハ一番大切なる事にて貴方ハ永あいだ活計

に勵みて居をども救の道ハ聞隙なきゆへ身の大切なる
商賣がまだ始まらぬと也外の事ハ是ゞ比較れば玩物の
やうぬる者にて我等ハ僅後年の間よ富るものか貧きも
のかそきハ大切なるとにあらざ耶穌よきたることそ夫ハ
大切なる事也貴方の近所に居るものハ多く死して隣人
も友人も稽古朋輩を多く墓所へ行し也貴方今迄生て居
たれどそ已に實を結ばざる木の如く切倒さるゝやうぬ
るとありしならん神も最早堪忍を止め近き内に罪を定
めて何故此人ハ世界の邪魔になるゝ者れハ切倒せと宣
ふべし貴方ハ老人ぬれば貴方の支度をなすやうに知ら

せい種〳〵あるべし顔は皺がより髪が白なり力が弱な
る是等の事は終りに近寄とを明に知らせると也貴方は
墓の際にひよろ〳〵して居れり年の若き人は永く生て
居んろしろし貴方は永き間生るといならだ至て早死
なねばなるまじ生て居る間に耶穌を防ぎ數千の安息日
やまた說教や幸福を皆等閑にして耶穌の廳前に立て其
事を述るときはいうにも恐しき事也されば一分でも待
て居らずは今耶穌にきたり耶穌の道を永く等閑にして
心は頑固となり悔改るともなし難くなれども只管に神
の聖靈の助を願へば彼のおかたは今も貴方の願を與へ

たまへる也貴方ハ年久しく耶穌にきゝ順ふとハよき事と思ハざれども彼のおろかたハ貴方と語るを止めぞ我に來れよと宣へり彼のおろかたハ貴方を愛し貴方を救たまふやうに待て居たまへりそれゆへもはや彼のおかたを捨ずに後の方を顧て死ハ近くきたり其跡に裁判其跡に地獄是等が來り貴方を執へんとせり早耶穌の方に遁ゆくべし彼のおかたより外には救たまふものあらざる也

窠白乃人も復耶穌にきたれよ

貴方の様子の異ぬるは前に耶穌に來りたれども今は迷

ひ前には近く來りたれども今は遠く離れたり其罪は余程大なるとにていかにといふに隨分基督の愛心を經驗たれども已に彼の御方を棄たり未だ此道を知らざる人より貴方は明なる光り大なる幸福にて羊の闌の中にていり善牧師の其群に餌ふ所の旨き草を味たれどもその清き闌より迷ひいでし也その迷ひ始めは私に祈を止め或は聖書を等閑にし或は試に負て罪を犯せば直に耶蘇にまいりて免を願はずゆへに遂に惰りきたり表向に信心を爲せども神に向て心さまあしく大方世間の放埒に沈み聖書の中に記してある通人世を愛すれば父を愛す

るの愛心は心の中に有るとなし其れより悪なりて表向罪を犯して人の前に「きりしたん」といふ名を見下すと測りがさし窠臼乃人にあらざれば善事を爲すべき境遇を外さゞるべし凡てその機會を失ひしゆへ神の事を盗み己の忘却する事を以て他の信者の氣を落せり如何して救はれんと心掛るもの、邪魔をなし他人ふ益がなく却て損をさせり其上聖靈を悲ませ新に神の子を十字架よ釘て表向に見下りたらしながら耶穌は信切なる羊牧なれば貴方の闌より迷出たれども貴方の還るを喜びたまひ彼のおうたは迷ふ羊を尋賜る也彼のおうた乃宣

ふには「いすらへる」の人よ汝の神ゑほばに歸れよ總ての罪を取り恩を以て我を迎たまへと神よ告よ我は其退き違ふの心を直し我まさに是を愛し我の怒は彼を離るとなり又宣ふよ棄白せし子供歸れよ我汝乃棄白を救ひ汝を愈すべし我が悪みある故なり只汝の神ゑほばに向て犯せし罪を汝自ら白明ふにべし汝棄白せし子供よ歸れよと此親切乃御言葉を考へその棄白の子の譬を思へよ（るか傳第十五章）此上にそ勵すとはあらざるなり耶穌より迷出ぬれども再び歸るとが叶ひて彼れおろたは前の如くに喜びて貴方を受たまふなりさきば退と哉止めよ

なぜ死を好むらヱホバに歸るべし

慈悲の盡果たると思ふ罪人を耶穌まきたるべし

おほかた貴方は神が御慈悲は他人のためである我のためではあらぬ我は餘り惡者になりて自分のためになる事をむだになし快思ひを消して神に敵對し恐るべき罪を犯したれば我のためには免しはあるまじと思はんがろしよく聞られよ神の宣ふに汝が罪の赤きと猩々緋が如なきどもぞ必ず白き雪の如くなさんと又我は活るなり我惡人の死ぬを以て悦びとせず唯惡人の死に入るの途を離轉て活るを欲せり歸れよ〱汝が惡き途を離て汝何

故に死を欲するやと又耶穌基督の血は我すべての罪を潔むると也總ての罪とは貴方の罪をいふと也聖書に耶穌よさのみて神に來るものは悉く救ふとあり悉くとは貴方を指ていへるなり又聖書にばうろのいへるとに耶穌は罪人を救ふ爲に世に降りたまひしが罪人の中我は尤も第一の罪人なりとありこの第一の罪人さへ救ひたまふとなれば貴方も救ひたまふべし人を殺せしだびで耶穌を拒みしぺてろ十字架に釘られし一人の盜賊耶穌を十字架に釘よ〱と云し衆の人耶穌の教會を苦めしばうろ是等は皆盡救はれたりかやうの人〱を救ひた

まふほどなれば貴方を救ふともなるべき也おほろた貴方は免されぬ罪を犯せしと思はんが貴方の心遣のあるとが乃ち其罪を犯さぬ證據なり其免されぬといふ罪は何事にても之を犯せばきつと實に悔改むるとはなるまじき也聖書の紙一枚毎にそべて悔改るものは免さるべしすべて慈悲を求るものは之を得ると記してあり耶蘇の宣ふに我にきたるものは我更に捨ずとあり更にとは何の事に由てを捨たまはずといふと也されば耶蘇に來りて免さるゝやうに悔改る罪人は必其免されぬほどの罪を犯さぬ罪人にて神のお約束お誓の通りに耶蘇にき

たりて救を求る總ての罪人は十分に免さる丶筈なり昔ホイツトフヒールドといふ人とハンテングドンといふ女の信者の家に招きて其女は此慈悲がつきはてたと思ふ人の心を慰めて耶穌の限りなき御慈悲に就て話をなせしあば其人が女にいふやう貴方は話は眞實にて明らかに分れども我は滅亡なるものゆへ慈悲を受るとなるまじと申せば女の答ていふに其の滅亡さと言てれる貴方は言葉を悦で承りなりと申ましたは人驚きてなんと我は滅亡なれとを聞て喜ばる丶かと申せば女は答ていふに誠に喜べりいかにとなれば耶穌は滅亡たるものを救ひた

まふ為にこの世に降りたまひし也といふこの言がそは
人の心を勵し耶穌を信じて後に安樂にこそ死せしと也
罪あるかたよ喜ぶべし耶穌は滅亡たるそのを救ふため
に降りたまふとなれば貴方をも救ひたまふべき也
油斷して居る罪人も耶穌にきたれよ
神に敵對するものとなり蚤死をするものとなりまた地
獄に落べきものとなるとなれば油斷をするは恐しき事
也この書籍を讀む人よ貴方は此世の翫物の如き者に甚
だ急しくある故に後の世の限りなき事には構はぬ人は
中にあるゆへに耶穌の驚べき言葉を聞て能考べきと也

それは世界中を得るほどの利益ありとも己れの靈魂を失なはゞ何の益があるべきやと宣ひし也たとへば多勢の人が畑を通りその畑の端に絶壁があればその人〳〵ハ樂みて歩き畑の花を取て遂に畑の端に至りし人毎段〴〵と底へ落て碎んとするを貴方が見ればその人に命がほしくば還れよ〳〵と叫ばんか貴方ハ是よりも尚恐しき天罰を受赴くに貴方の下に火の湖が欠してをれば耶穌は貴方に歸れよ〳〵何故に死するとを好むやと叫て居たまへりしかし貴方は危きとを見ず今樂で居し後の世に難義なるとハ無と思へりたとへば瀧の絶壁より

落るをこし前に平に流るゝ所あり貴方は其れに似たる安藥にて限なき苦みに落いるべし毒なる物の内にて其味の好きものあれども之を飲む人をば深く眠るやうに慰むれども最早目はさめざる也貴方は惡魔のあたへたる死の盃を飲んで善味と思ふは乃ち死せる毒也貴方乃救の道に就て心掛なきは其毒の靈魂を死ぬせる證據なり地獄は火に目乃醒めざるやうに氣を付よ餘り遲緩ならぬ中に熟睡とを止めよたとへば貴方の家より火事が出て屋根が燃落ちは貴方を滅亡さんとするに安樂に坐して翫弄のやうなる物を持て心を慰めすべて乃異見に

構はず衆人は火事よく〳〵と叫べども貴方は氣を付ざるなり其通り耶穌は貴方が遁所となりたく思召たまへども貴方は却て之を聞容ず耶穌の思召とも無益と也耶穌の言葉を構つけざれ共いろにも危き様子あり息を吸ふ度毎に危く家に止るふを旅行するにも危きとが貴方と一所にをり晝ハ貴方の忙しき中ふ危きとが貴方が上に待て居り貴方ハ繁昌して居るもの可愛れて居るその他人よ尊ばれて居るものまた惘然として居るものなれども危きあらさまに居れり貴方は氣のつかざるやうに或は強めて忙がしくなし或は次第よ深く罪に沈なれども誠

に危きとあり神の御怒を蒙りまたは死するやうに成りまたハ地獄にいたるやうに成るべしどふか耶穌の方へ遁よこの處ハ無事で居らるゝとなさば救の門が明てをるうちとゝに遁入るべし閉るときに至ては最早いか程戸を叩きても明るとも叶ふまじき也

今日中に耶穌にきたられよ明日に至ては行き兼ぬるやうになるべし

多分貴方は罪を悔改るといつでも今日のやうに易き事と思はんが其れは至て危く甚だ惑ひ乃とにてすべて心に感ずるとはこれに順て行はざれば日〳〵にそれが

積に因て衰ふべしたとへば水車の邊や或は騷〳〵しき音の河邊または波音のつゞき海邊などに住居へば始めハ耳につきて困るものなれども後ふハ氣が付ぬやうになるもの也丁度この通り教の道は人の心に始めは深く感じ易きとなればそれに從ひて養ひ保ざれば心に感ずる力が日〳〵に薄くなり遂には皆なくなりて仕舞その也耶穌の宣ふは視よ戸外に立て叩とあり其意味は說教またハ書物またハ會話またハ良心を以て人乃心の門を叩きたまふ也始めて其聲を聞くときは驚くとなれども其時直に立て門を開かざれば明日は驚くとも少くなり

後にて遂にすこしも聞へざるやうなれもの也一度教の道に感じて居るものゝ今は少しも感ずれとなく夙に地獄の方へ至れる者幾個もありたとへば英國の海邊の絶壁に衆の水鳥が卵を生めり或時人有てそれより頂きより鉄ち棒を突建て繩を繋て下降りしが絶壁の上ハ其下より出張たれば繩で下釣さがりたる体をあちこち振動し卵のあれ岩棚に届や否や遷り立てをれとき過まちて其繩が手より外れてどこと出たれゆへその有様ハ甚だ恐しき事にて下ふ荒き波が立ち下とそ登れともならぞ食物もなきゆへ暫たてば死すべき也若し其處より下の岩に落

れば砕て死せんとす其縄より外にハ助る仕方をなし縄はまだ動きて止まらずしかし動ことをやめば取付とならず縄は近寄毎に尚益々遠く離て一分毎に待居れば段々危きことになり夫故決定して縄の自分の方へ近寄とき其縄に飛付て無事に山の頂に登りしと也罪人よ一分毎に延て居てハ救ハ彌々遠くなり地獄は下にあり死ははやく貴方を投落さんとせりしかるに耶穌は近寄て貴方を救ハんと思召貴方は彼のかたを取るやうに招きたまへりその外望なく信仰を以て耶穌を取られよ信仰すれば決して外れることはあるまじき也耶穌は貴方を

以て天國へ引きたまはん貴方が彌々待延せば彌々危きことにならん今すぐに耶穌にいたられよ今日耶穌にきたられよ明日にては餘りおそくなるべし

あなたハ耶穌にきたると心を定しかども今日きたらぞ

聖書にフェイリックスがばうろに申やう只今退てたばし程經て貴方を呼ばんとあり教に從ふとを延しておれば惡魔が永く貴方を永く縛て僕となせり神の宣に今日我言を聞て心を頑固にすると勿れ視よ今日こそ救はるゝ日なりと惡魔が竊に耳にさゝやきて申やう今日でなく

明日に延ばすべしとまた悪魔は貴方に暫く今我に仕る
ならば後には神に仕ることを免すと約束を致さんにその
後の時を用心せよ靈魂の滅亡とは罪人の悔改めざと決
定したる譯ではなく暫く悔改ることを延し餘りに遲緩な
りし故也人の明日まで待ふ因て地獄は一杯になるとふ
て貴方は病氣になるときまでは待んと思へども病煩ふ
ときに至ては悔改ると甚だ六ケ敷と也いろまといふに
病のためふ心が苦しみ体と共に心も弱くなり能考ふる
とてあたてざる也衆人は穩に死するやうに見れどもそ
れは病の様子ふて病煩ふとき悔改るど表向には申せど

を病が愈ると惰たるもので是ハ真に悔改るをのではなく其時死たらんまハ滅亡べし深く病るとき救ひ得るとハ少ぬきとあり貴方ハ病煩ふとなく俄然に死せざるとハ申さねど今日無恙ても明日死するも知れど貴方の命ハ定めなきものなれば救の時節を延すとあるハたとへば因人が死罪に定てもいまだ死するときを知らざれば人の告るに死するときの來ぬうちに縣令ふ免しを願なば命ハ助なんといふに因人ハ明日願申さんといひて明日に至て因人より申にハ間もしばらく有とゆへ少し延さんといふ中に俄に獄屋の門ハ打開き役員が入て來れり

其時少し待たまハれ願書を差出度と云どもも役員ハ其れを聽入れずもしや裁決になりてハ餘り晩くなりて貴方ハ死なねばならぬと申すべし嗚呼罪人よ貴方の罪ハ定まりて死ぬる時節の知れざれば明日まで悔改ることを延を積にても今日死したらんにハ地獄に墜べきなり今日ハ耶穌が門を叩きたまへども明日ハ恐らくハ死が門を叩くことになるべし善き友達を防げども死が這入て貴方を裁判人の方へ連行べし今日耶穌にきたらきよ彼のおかたハ今日貴方を救ハんと思召たまへり今日天國の門ハ開きてあきども明日に至れば恐らくハあまり晩くな

るべし

耶穌にきたらざればかならず滅亡べし

我はいかにして救はれん耶穌基督を信ずべし我はいかなる譯にて滅亡べしとの大なる救の道を棄るゆへ也此外に働といは不用なり我等は巳に滅亡たる者なれど耶穌は我等を救度おぼしめせども我等が其思召を棄るならば耶穌にきたらぬ前の有様が殘れるとなりたとへば人が毒蛇に咬付きて即効のある藥を付ざればきつと死すべきなり福音の教は只一ッの靈を救ふよき藥なり之を用ひざればかならず罪にて殺さるべし盗賊や人殺はせ

ざれども靈魂は滅亡てあり聖書の鄭重しき言葉を考へかやうに大なる救の道を棄てハいかにしても遁るゝとはならざるなり唯一ッの遁るゝ仕方を用ひざれば遁るゝとにハならざる也たとへば小舟ハ早き流れの瀧に掛ては沈まんとすしかれども其所に一ッの岩有てその上に人が綱を以て待居たるに其舟の人はその綱に取付とをせざればとても遁るゝとハ叶ハぞ斯の人ハ自分の油斷に由て滅亡に至るなり耶蘇のみ靈を救ふとを爲せり彼のおかたの外には誰にても救ふとハならざる也いかにとなれば天の下に耶蘇の外我等の賴みて救を願ふ他

の名はあらざれば也嗚呼罪人よ耶穌を棄ればかならず罪の定るとはなりぬべし貴方の刑罰と罪辜とはいうにも大なる事はあらずや聖書にもし我等眞の道を知て後その教に背かば罪を贖ふの祭方はあらずと記してあり昔もせすの法得を犯せしものあり二三人證據に立もの有ればきつと殺されるとにて神の御子を蹈付にして我等を贖ひたまふ約束の血を汚れさるものとなし恩を施したまふ聖靈を狎侮る人は極めて重き刑罰を受る筈なりと記せり貴方は狎と惑との甚しきとにてはなきや神の誡めたまふ如く從がひなすべし神の明に見たまふ御

眼を遁きんとせば巖が貴方の上に落匿すると思はんか其れはならく〳〵むだのとにて耶穌に來るより外には遁るゝ仕方はあらぬとゆへきたらねばかならぬ滅亡とまり聖書に神の宣に汝を招ども聞ざるに由て汝の禍あるを笑ふ汝恐るゝとき我之を嘲る其時汝我を呼ども我不應汝我を求れどを我に遇とを得ずいかにとなれば汝神を恐き敬ふとを好まずまた我諫る處を輕んじ忽にするとも記してあり罪のある人〳〵よ此勵しき事を避遁るべき事なり耶穌は今立て其御手を延したまひ貴方の來て救を受るやうに願ひたまふゆへその恩を今よりは棄ず

して貴方の罪と患とを以て今の儘にて速にきたりたら
ば彼のおうたい實よ貴方を棄たまいざる也